

2021年6月2日 第49回研究報告会（会場及びオンライン併用開催）

佐藤理事長 閉会挨拶

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり一言申し上げます。

まず、来賓としてご挨拶いただいた藤井国土交通審議官、基調講演を下された加藤先生、コメンテーターを務めて下さった日比野先生、藤垣先生、金子先生、谷口先生、長時間にわたりご参加いただいた大勢の視聴者の皆様、そして当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

さて、研究報告会も今回で49回目となりますが、その開催方法は、昨年来のコロナ禍を契機として、大きく進化してきております。

一昨年度の第46回までは海運クラブなどの会場に大勢の方々にお集まりいただき開催しておりましたが、昨年度の第47回・第48回は録画配信の形で開催したところ、「何度でも見直しが可能で理解を深めることができる」、「時間のある時に何回かに分けて視聴できる」といった点が評価され、それまでを上回る大勢の皆様にご視聴いただきました。

今回からは、視聴者の皆様に研究内容をわかりやすくお伝えし、理解を深めていただくと同時に、学会発表のような臨場感と緊張感のある研究報告会にしたいと考え、実会場とオンライン配信を併用することに加え、当研究所の研究アドバイザーでもある加藤先生に基調講演をお願いするとともに、各研究員の発表に対してコメンテーターの先生方からコメントをいただくことにしました。もちろん、録画配信のメリットも残すため、本日の研究報告会の模様は録画しており、後日、ホームページ上で公開いたします。また、世界に向けて発信するという意味で、英語版を作成し、公開することも予定しています。

細かい話で恐縮ですが、「会場とオンラインを併用するのであれば、慣れ親しんだ海運クラブを使わないのか」とお考えになる方もいらっしゃると思いますので、少しだけ説明いたしますと、昨年第47回の企画段階で、パラリンピックの開催を前提に「ユニバーサルデザイン」をテーマとしてパラリンピアンによる講演を構想していたところ、海運クラブの施設がバリアフリー化されていないことが判明するという事情があったわけでございます。

運輸総合研究所といたしましては、今後とも、視聴者の皆様のニーズに合致させる形で研究報告会の開催方法をますます進化させてまいりたいと考えておりますので、忌憚のないご意見やアイデアを本日の研究報告会終了後のアンケートに是非ともご記載いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。

本日は、最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。

（以上）